

令和 6 年度 第 4 回旭市総合戦略推進委員会（次期総合戦略策定）

議事録【要約】

日時：令和 6 年 12 月 16 日（月）10：00～11：30

場所：旭市役所 3 階 政策決定室

○出席者

《委員》

鎌田 元弘 委員長	出	柳 明美 副委員長	出	鈴木 正雄 委員	出
加瀬 哲郎 委員	欠	林 千夏 委員	出	伊藤 直美 委員	出
嶋田 隆 委員	出	奈良 暁子 委員	出	石毛 良樹 委員	欠
佐藤 勝彦 委員	欠	梅田 和男 委員	出	宮内 夏子 委員	出
飯田 周作 委員	出	嶋田 明範 委員	出	加瀬 修一 委員	出
花香 真菜 委員	欠	西坂 重信 委員	欠	水野 竜也 委員	出

《事務局》 旭市企画政策課：柴課長、江戸副課長、角川班長、高木、木内

《支援業務受注者》（株）ちばぎん総合研究所 小松、福田、大塚

○配布資料

- ・ 次第
- ・ 資料 1 第 3 期旭市総合戦略素案

○会議内容

1 開会

- ・ 配布資料の確認
- ・ 欠席委員の報告

2 あいさつ

3 議題

委員長：「（1）第 3 期旭市総合戦略素案」について、事務局からの説明をお願いします。

事務局：資料 1 について説明。

委 員：重点プロジェクト、基本施策に「デジタル技術による地域課題解決」が入っているが、私のようなパソコンが苦手な人でも大丈夫か。具体的にどのようなことができるのか。

事務局：パソコンが苦手な人も考慮していかなければならないと思っています。パソコンに限らずスマートフォンも大分普及し、例えば、検診の申し込みなど、今後使い方も広がってきます。すべての部分にデジタルがかかっていますが、基本的にどの分野においても、今後人口減少に対応するために、デジタルを活用しての作業が進んでくるとしています。具体的には、農業分野では、データを用いたスマート農業が分かりやすいと思います。これも人手不足を解決する技術だと思います。今ある技術に加え、今後開発される技術を活用することによって、人の暮らしが良くなるとともに、人手不足にも対応できる社会を進めていくことが基本的な考えとなっています。デジタルが苦手な方を取り残すことなく、苦手な方への対応も当然考えた中でどのような取り組みができるのか考えていくことになります。

委員：デジタルが苦手な方に対しても優しく丁寧な対応をお願いしたい。

委員：基本施策の観光振興において、観光物産協会への支援、K P Iとして宿泊者数があるが、市はどのくらいの関わり方を想定しているのか。例えば、宿泊者数は、新しいホテルができて部屋数が増えれば年間1万人の増加はすぐ達成できるのでは。これに限らず、民間がK P Iに関わってくる部分についての考えは。

事務局：現段階では、ホテルの動向は、はっきり分かっていません。K P Iは統計数値などで、公表されていて、分かりやすいものを考えています。ホテルの在り方によって、結果として数字が動いてしまうことは理由がはっきりしているので仕方がないと考えています。また、観光入込客数についても、イベントの有無によって大きく変動します。また、単純に客室数が増えれば宿泊者数も増えますが、リピートしてくれるお客様がいることで、観光客入込数の増加につながってくるとしますので、諸般の事情で変動することがあるかもしれませんが、理由が分かっていますのでそれで良いと考えています。

委員：数字は数字として積み上げて、それに対して説明していきますということですね。民間都合で変化するところに、取り立てて目標があるから施策を考えるわけではないという理解でよいか。

事務局：はい。

委員：感想ですが、SDG sの17のゴールがそれぞれの施策に表記されていて分かりやすいと思うなかで、市の施策において、17のゴールのうち、これが多めとか少なめだとかあるか。

事務局：市の施策には、すべてのSDG sが関わっていますが、確かに17のゴールのなかで偏りが出るところはあります。

委員長：必ずしもSDG sに関係する数が少ないからといって質が低下しているわけではないという理解ですよね。

委員：K P Iのメタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合が31.9%は高いと感じたのです

が、特定健診を受けている方で年齢層としては45歳以上くらいの割合なのではないでしょうか。また、目標の20%はとても良いと思いますが、全国の平均がどのくらいかご存じでしたら教えてほしい。

事務局：市の健診で把握している数値であります。年齢と全国平均については後日確認します。

委員：病院の方でも健康づくりを推進しており、意識の高い人は講座に出るなど積極的ですが、意識の低い人をどのように行動に移すことができるかが難しいと感じている。市役所と病院で啓発していければと思う。

委員：子育て分野について、充実した記載がされているので有難い。

委員：KPIの出生数について、基準値385人に対して、目標値400人と増加の目標を立てられているが、感覚的には人口減少にあるなかで増やすのは大丈夫か。かなり高い目標のように感じるが、数値の根拠はあるか。

事務局：年齢層などを考慮して算出した数値ではありませんが、当初、もっと高い目標値を出していたのですが、検討し、少し下げているところです。令和5年の出生数は385人で、昨年から50人程度増えており以前に戻りつつありますので、希望として持っていきたい数字です。

委員：以前、不妊治療について、国の取り組み以外も追加していただけたらと発言したが、実際に主な取組事業として記載されていて嬉しく思う。全体を通して、意見を取り入れていただいた施策になっている。117ページに、がん検診や特定健康診査、感染予防対策などあるが、新型コロナウイルスが5類感染症になりワクチンが有料となった。接種費用が15,300円のところ旭市の高齢者は10,300円の補助があり5,000円程度で接種できる。県内でも市町村によって無料だったり2,000円だったり金額にばらつきがある。インフルエンザや新型コロナウイルスワクチンについても、市の財政など当然あるかと思うが、感染予防対策として予防接種の取り組みを進める中で、高齢者は金額が高いと接種しないところがあるので、近隣自治体を見ながら予算取りしていただけると良い。また、旭市内に歯医者は36施設あるが、人口に対して美容院と歯医者が多い市であると思う。そのなかで、主な取組事業に歯科検診が入っていない。通常は虫歯などで受診するが、健康診断で歯科健診を実施する自治体もある。高齢者にとって歯があることは一番大切だと言われているので、全体の方向性は良いですが、健康づくりの取組事業の中に、そこを追加すると具体的な健康につながると思う。

事務局：新型コロナウイルスワクチン接種は、県と市の助成を合わせると個人負担額は5,000円程度と近隣自治体でも同じだと思います。インフルエンザの助成金額は1,000円で、これも近隣自治体と同じだと思います。インフルエンザの助成については対象者を高校生まで拡大しており、近隣を見ながら検討していると思います。歯科健診については確かに記載がありませんので、意見を受けて担当課に伝えます。

委員：新型コロナウイルスの薬に対する助成金はないのか。自費で1万5,000円かかった。

事務局：現在、ワクチン接種の助成はありますが、処方薬に対する助成は無い状況です。5類に移行された部分もありますし、担当課も近隣の状況を調査していると思います。

委員：47ページに老人クラブ活動促進事業がありますが、入会率は少ないのでしょうか。私自身も高齢者の出前カフェをやっていますが、こんなに楽しいのになぜ入らないのだろうと思う。先日は、シニアクラブの旅行にも参加したが、とても盛り上がっていた。このような活動をもっと進めていけたら、役員など上に立つ人がいないということも確かにありますが、活動を増やしていけないと、だんだん家に引きこもってしまう。それこそ施設に入るのも数年待ちの状態なので、やはりお互いで顔を見せ合うことが大事だと思う。

事務局：シニアクラブの団体数は、解散するところもありますが新しく設立する団体もあります。ただ、新しく加入される方が少ないので人数は増えていないのだと思います。一人暮らしの方など外出してもらえるよう担当課も動いていますが、なかなか結びついていないようです。

委員：先日、保健医療関係の会議に出席しましたが、なるべく高齢者に外に出てもらえるように地域でお話をしましょうという内容で、交流の機会をどんどん作っていければいいのかなと思った。

委員：いろいろ事業があり充実していてありがたいと思う。話は変わりますが、学校によって遠足の行き先が異なり、息子の学校では遠足が無くなり、校外学習として季楽里あさひや、スーパーアサヒなど近場に行くことが多くなっている。別の小学校では同じ1～2年生でも茨城県の水族館に行く学校もあった。子どもにとって、みんなでバスに乗って遠足に行くことは記憶に残る楽しい思い出になるので充実させてほしい。また、先程の高齢者の件について、機会を作ることも大切ですが、機会があっても外に出るか出ないかは個人によるところが大きいところもあるので、行けない人のところには、個人的に訪問するなど気にかけてあげることも大切だと思う。

事務局：遠足について、詳しい事情が分かりませんが、学校によって行き先が異なることはあるかと思っています。実施もしないという事は担当課に確認したいと思います。また、一人暮らし高齢者については、月1～2回ほど民生委員が訪問されていて、大変ではありますが、そのようなかたちで生活の状況を確認いただいています。

委員：遠足の件で、孫が2年生になるが、観光バス会社では運転手の確保に困っているようです。今までは、バスで遠足に行っていたのが、道の駅に集合して何売っているか見学するかたちになったようです。修学旅行については何とかバスを手配できたが大変難しかったようです。

委員長：ぜひ担当課に情報共有いただければと思います。

委員：62ページの雇用の確保では、ハローワーク銚子の記載があるが、旭市地域職業相談室について

は、市との連携事業であり、引き続き協力しながら進めていきたい。また、最初にデジタル化の話があったが、ハローワークもデジタル化が進み、仕事を探す場合、昭和の時代ではハローワークに来て紙の求人票を見ていましたが、平成に入り画面タッチ式のコンピューターで閲覧していて、スマホでも検索できるようにもなっている。この先は、将来的には検索機も無くなりすべてスマホになる方向です。通常はハローワークで紹介を受ける流れですが、最近、ハローワークに行かずにスマホで求人票を見て、直接会社へ行ってしまう方もいる。そして、会社によっては民間の職業紹介事業者に求人を出すところもあり、ハローワークと競合する部分があるので、全国的に、利用者が減っていくのではないかと感じている。また高齢者が増えているなかでデジタル化にどこまで対応していけるか懸念される部分もある。それでも、旭市地域職業相談室の存在感を示していくことが重要だと思っているので、引き続き市と連携しながら対応していきたい。

事務局：雇用確保は、市のアンケートでも一番伸び代がある部分だと理解しています。ぜひ今後も協力していくとともに、デジタル化が大分進んでいる実情も踏まえながら一緒に進めていければと思います。

委員：同じくデジタル化の推進支援について、事業所でデジタル化を進めるにあたり市に相談するとした場合の窓口はあるのか。私どもの運送会社では、荷物を積んで出発する前に点呼という形で面談をするが、行き先で荷下ろしが終わった時点でも本社と連絡を取り点呼を行うが、時間によっては会社に入っていない場合もあるので、そこをデジタルで実現するとなった場合に、トラック協会に相談する方法もあるが。また資金的な援助も含め相談できるのか。

事務局：相談窓口は、商工観光課になります。分野によって担当課がありますがデジタル化はそちらに相談いただければと思います。また、支援については国もデジタル化の推進に動いていますので、何か支援があるのではないかと理解しています。

委員：全体を見て、KPIの目標値で結構高いと思われる部分がありますが、これに向けて皆で同じ方向を向いて活動できればきっと良いまちづくりができるというのが正直な感想です。以前もお話しましたが、今は旭市に住んでいないですが、将来的には実家のある旭市に戻るか考えたときに、家族と話していて不安になるのは、自分も同じだが、これから先高齢者が増えることは間違いありません。その一方で、ご年配の方の免許証の返納が言われている中で、交通難民、買い物難民になる方が増えていくと思う。やはり一人で買い物に行けないお年寄りの方は今後どんどん増えていくなかで、公共交通の整備やデマンド交通などだけでは、地方部は補えないのではないかと不安を感じている。できれば移動スーパーや、本当はお店自体が増えれば良いのですが、なかなか商業の方も経営が大変なようで、新しいお店をどんどん増やすわけにはいかないでしょうから、移動スーパーなどに対する支援などができれば少しでも良くなると思う。買い物難民の対策について伺いたい。

事務局：交通弱者・買い物難民の心配については、コミュニティバスとあわせて、デマンド交通を運行しています。おかげさまでデマンドタクシーの申込者数は順調に伸びてきています。病院や買

い物はどこからでも行けるようになっており、市としては進めている立場でもありますので利用していただきたいと思います。また、移動スーパーについては、確かに市ではなく民間主導で進めていて、市内でも増えてきています。

委員長：基本施策 12 の生涯活躍のまち推進でも、公民連携のなかで居場所を含めてまちなか居住を支援できないかと色々検討しています。

委員：移動販売について、私が住んでいる山武市ではカスミが市内を巡回している。市がどのくらい関わっているかはわからないが、行政と事業者が一緒になって取り組んでいるようで、特に販売場所の確保が大事で、公共施設や市有地の空いている土地、道路の片隅など、行政の方でも、市民のニーズのある場所を一緒になって確保することが大事だと思う。観光施策には関わっていたこともあり、K P I に観光入込客数を設定されているが、事情を承知したうえで敢えて思うことは、観光振興は、裾野の広い産業と言われていて、結局はお客さんに来てもらってそこでお金を使ってもらうところからで、いろいろな分野への経済波及効果を期待するものだと思う。そういったなかで、究極の目標は経済波及効果をいかに高められるかということになるわけで、そのためには、入込客数に 1 人あたりの消費単価、それに原材料や従業員など、いかに市の中で調達できるかが関わってくる。入込客数だけではなくて、本来は一人当たりの消費単価を高める、あるいは地産地消を進めるなど調達率を上げることが必要になってくるが、旭市ではそれをもうやられていると思う。地産地消や宿泊滞在型観光を進めて、1 人当たりの単価を上げていくことはすでに取り組まれているので、K P I の入込客数というのがもったいないという思いはあります。ですが、波及効果を計算するのはすごく大変な作業なので、それが出せないのは致し方ないのかなと分かったうえで思いを話しました。また、別の委員から D X の関係で、パソコンを使えない方が取り残されるのではないかと不安の意見もあった。それは市民からも出てくる気がしていて、この素案のなかで伝わっていないのかなという気がしている。ビジョンがしっかりしているので、もう少し丁寧に記載をすれば心配が払拭されるのかなと思う。例えば、26 ページの「デジタル田園都市国家構想」の記載だけでは、すべての人に便利な生活、高齢者などの使えない人に配慮しているというのが伝わりにくいので、これから、議会やパブリックコメントなど進めていくなかで色々な質問がでてくると思うが、これから色々な意見を聞くなかで見直していければと思う。

事務局：移動販売は民間が行っていますが、売り場などに公共施設を使いたいという話がありますので、市としても当然協力していきたいというのがスタンスです。また、K P I として経済波及効果の点について、市内に来ていただいた方が、どれだけ消費等しているか比較ができれば良いと思いますが、そこは確認させていただきたいと思いました。最後に、デジタル化について、今改めて 26 ページを見ると、確かに不安に思われる方もいると反省しているところです。国としてもデジタル化を進める前提として「誰一人取り残されない」社会の実現という言葉が入っていますので、記述に加えたいと思います。

委員：今言った経済波及効果ですが、それを出すにはすごくお金と手間がかかります。県も結構なお金を使って算出しているので、それを旭市がやるのは無理だということが分かっている、入込

客数になるのは承知のうえで言っただけですので、やってくれということではありません。

委員：いいおかYOU・遊フェスティバルが今年から秋開催になった。通常の夏の開催では、花火が終わるのが21時くらいになる。今年は19時に終わるので、そのあとご飯を食べて帰っていただくことが狙えると思っていたが、観光物産協会で、近隣のお店の情報を流したが、飲食店が営業していなかったり、早く終わったりしていて、思いとは違う方向で事業者自体がそれを期待していなかったところがあった。イベントを実施していくうえではそのようなことを狙っていかなければならないし、事業者にも理解してもらうことも必要だと思う。イベントなどで地域にお金を落としていただけるよう、市でもしっかり考えてほしい。また、DXの話ですが、同様に花火大会で、駐車券販売をデジタル化したが、使えない方々が駐車場を予約できなくてクレームがあった。そういった方を取り残さないためにも協力してほしいと感じた。

委員：市内の移動スーパーも、高齢者の集いの場があった時に来てくれる。場所がないところでは、1回で終わってしまうこともあるが、高齢者にとっては、金額が高いことが一番負担であり、出張料として1商品にプラスされることもある。また、地元で夫婦で経営しているお店があるので、敢えてそこで買う方もいる。

委員長：「その他」について、事務局からの説明をお願いします。

事務局：本日、説明いたしました素案について、ご意見等のある場合は、12月26日（木）までに、配布させていただきました意見書にて提出をいただきますようお願いいたします。また、今後のスケジュールですが、本日いただいた意見、また来週の23日（月）の議会への説明、12月25日（水）から1月17日（金）にかけてのパブリックコメントを踏まえ、最終調整した案を、次回の総合戦略推進委員会でお示しする予定です。次回の推進委員会につきましては、2月下旬から3月上旬を予定しています。改めて通知を郵送させていただきますのでよろしくお願いいたします。

委員長：ただいま、次回の委員会の日程について説明がありました。本日の素案については、今後議会への説明を経て、パブリックコメントを行うとのことでした。

議事は以上となります。ご協力ありがとうございました。事務局にお返しいたします。

事務局：本日は長時間に渡り、お疲れ様でした。引き続き、皆様からのご意見をいただきながら、次期総合戦略の策定を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

4 閉会